

議会が取材 6月23日

子育て支援センター



男衾保育所内にある子育て支援センター「ほかほかクラブ」取材しました。

おさりの服もシェアしています

『おさがりシェアBOX』☆ご自由に持ちください☆

のほらあきこ 野原亜希子保育士

3人の保育士がお待ちしてます！遊びに来てね！

ママだってつながりたい！

「育児」は「育自」。語らいの中で自分も成長していきたい。

語り合って、子育てが楽しかった



くろさわかずね 黒沢和音さん(男衾)

おおのかな 大壁花菜さん(男衾)

家が隣同士で一緒に参加するようになりました。ここへ来るとママ同士でいろいろな話ができてとても楽しいです。離乳食のことや予防接種のことなどの悩み相談できるし、毎月子どもの手帳を保育士さんが取ってくれて次の月のカレンダーを作るのも楽しい。こういう場があるので子育てが苦だと思ったことはありません。

モカイの視点

ママの声が届く町へ

子育て世代やママたちは、日々の生活の大変さを抱えながらも、子どもたちの未来を育む大事な存在として、その発言には確かな裏づけがある。生活の変化に敏感（物価・保育・医療・教育・交通など）、子どもに関わる情報を常に収集。「小さな不便」を見逃さない。その説得力ある声は、町にとって最も信頼できる提案だ。

「ママの声が届く町」は誰にとっても優しい町。もっと優しい寄居町へ。寄居町議会の挑戦は続く。

ママの頑張る姿を子どもに伝えたい

しらかわ かおり 白川 芳さん(男衾)

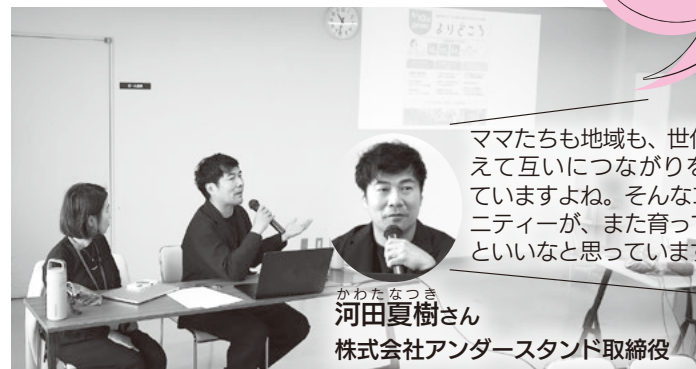
ここに通うと様々な情報交換もできて、子どもの保育園の預け先も決まって良かったです。私も、英語を生かせる仕事に就いたり、社会に貢献できる活動に挑戦しています。子どもも社会性のある子に育ってほしいから、自分の頑張る姿を伝えていきたいですね。

ママを支えるまちへ 寄居はもっと優しくなる

議会が取材 6月10日

ヨリママ

ヨリママ新拠点「よりどころ」取材しました。



ママたちも地域も、世代を超えて互いにつながりを求めていますよね。そんなコミュニティが、また育っていくといいなと思っています。

かわたなつき 河田夏樹さん 株式会社アンダースタンド取締役

かわたかずこ 河田和子さん 株式会社アンダースタンド取締役

5月23日の意見交換会の中で、寄居町が推進する「ヨリママ事業」について、運営する「株式会社アンダースタンド」の河田夏樹氏から説明があった。ママたちも興味津々。

ママだって働きたい！

子育てと仕事の両立 新しい働き方がココに

ヨリママ何？

2018年、町は、在宅ワークサービス運営する「株式会社アンダースタンド」と協定を結び「ヨリママ」と名づけた事業をスタート。ヨリママのLINEに登録し、無料カウンセリングやイベント・講座に参加できます。仕事への申し込みには、別途「エニママ」への登録が必要です。



ヨリママの詳細はこちら

寄居町からヨリママ事業を委託され8年になりますが、働くママたちのスキルアップが目覚ましく、個人も事業も着実に成長しています。今までは都内の企業とのマッチングが中心でしたが、これからは人手不足の地元の企業でも働けるよう推進していきたいですね。

子どもがおなかにいるときからスタート

まちだますみ 町田真澄さん(鉢形)

寄居町に移住し、幼稚園のママ友のつながりから、ヨリママを知りました。全くの未経験でしたが、下の子がおなかにいるときから、スキマ時間を使って仕事を始めました。仕事の内容は、広告・チラシ・データ入力等のほかにチームの運営にも関わり、やりがいがあります。

子どもを学童に入れての仕事は大変...

いけだまきこ 池田真紀子さん(用土)

在宅ワークに興味はありましたが、ネットで募集している仕事は少し不安。そんなときヨリママを知り、町のサポートがあるなら...と思い、始めました。最初は、一番下の子が2歳くらいのとき、寝たすきに仕事をするペースでしたが、細く長く続けてきました。オンラインの仕事相手とは直接の会話はありますが、「ありがとう」のスタンプが嬉しいです。

こういう仕事があった

はんだ ゆう 半田 悠さん(西部)

子どもが生まれるに当たり、自分の生活にフィットした働き方がしたいと思い、在宅ワークに興味を持ちました。ヨリママならライフステージに合わせて収入を上げていくこともできるし、子どもの成長に合わせて働き方も変えていくこともできる。こういう仕事があったという思いがあって、今はとても楽しいです。